

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈3月末現在〉

農業▷10人 教育魅力化▷3人
起業型▷9人 協働型▷8人

教育魅力化支援員

やまなか たくや
山中 卓也さん

着任：令和4年4月(3年目)
出身：旭川市



—教育魅力化支援員に応募したきっかけを教えてください。

大学を卒業後、ワーキングホリデーを利用してオーストラリアへ行き、帰国後は北海道内の高校や中学校で教員として11年間勤務しました。その後、JICAの青年海外協力隊員としてウズベキスタンへ行きました。

コロナ禍の影響で4カ月後に帰国し、自分のやりたい事を模索する中、学校の教員ではできない子どもたちとの関わり方をしてみたかったことに気づきました。その時、厚真町が放課後の公営塾スタッフを募集しているのを知り、応募しました。

—3年間どのようなことをしてきましたか？感想や特に印象に残っていることは？

厚真町公営塾「よりみち学舎」のスタッフとして、放課後の厚高生の学習指導や生徒たちが興味・関心のあることを一緒にやってきました。最も印象に残っているのは、「アースデイ」という町内のイベントです。町内の

高校生と一緒に出店しました。周囲には自分のやりたい事を仕事にして出店している方がいて、その大人たちの姿を見た高校生が「厚真じゃないみたい」と感想をもらったことがとても印象に残っています。

—3年間の活動で、見てきた変化はありますか？

厚高生がこれまで以上に高校生活を楽しく過ごしている姿が見られるようになりました。放課後のみならず、学校生活も楽しんでいきます。先生方が生徒の個性を尊重したうえで厚高生と接してくれているお陰だと思えます。地域との関わりも成長に結びついています。

—今後の活動予定と目標を教えてください。

教育魅力化支援員は終了しますが、引き続き町内で子どもも大人も自由に遊べる場所「プレーパーク」の開催を計画しています。遊びだけではなく、体験活動を通じた学びの場づくりに挑戦する予定です。地域の人々と協力して、畑で農作物をつくり、収穫、そして料理をする場所を提供したいと思っています。「プレーパーク」の持続可能な運営、そして新たな学び場づくりを目指していきます。みなさんにご協力をお願いすることもあります。これからもよろしくお願いします。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報はじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



町職員の人事異動

()内は主務、()内は前職、(兼)は兼務

厚真町人事

◆異動(4月1日付)

- ・地方創生担当理事・まちづくり推進課政策推進担当理事(兼)・土地開発公社(兼)(任期付)▼大坪秀幸(地方創生担当理事・まちづくり推進課政策推進担当理事・土地開発公社(兼))
- ・産業経済課農業担当理事・農業委員会事務局(兼)▼大垣貴弘(産業経済課主幹農業グループ)
- ・産業経済課主査(農業グループ)▼岡橋篤志(産業経済課主任農業グループ)
- ・建設課主査(上下水道グループ)▼中田恭平(建設課主任上下水道グループ)
- ・住民課主任(福祉グループ)▼中山亮(住民課主任税務グループ)
- ・住民課主事(税務グループ)▼飯岡高基(建設課主事上下水道グループ)
- ・住民課主事(子育て支援グループ)▼渡邊咲羅(生涯学習課主事社会教育グループ)
- ・総務課主任(情報防災グループ)

◆新規採用

- ・産業経済課主査(林業・森林再生推進グループ)▼河尻雅信
- ・建設課主任(上下水道グループ)▼國重友宏
- ・産業経済課主事(農業グループ)▼柿崎拓夢

教育委員会人事

◆新規採用

- ・生涯学習課主任(社会教育グループ)▼高田華凜

◆退職(3月31日付)

- ▼中村信宏(産業経済課農業担当理事・農業委員会事務局(兼))
- ▼起田淳(総務課情報防災グループ主幹)
- ▼山方隆寛(産業経済課林業・森林再生推進グループ主査)※林野庁から派遣
- ▼鈴木瑠辰(建設課土木グループ主事)※道から派遣